

続・ふるさと こぼれ話

おおき 青木の親腸先生⑨

— 酒井良清物語 移動公民館⑦ —

第77回

移動公民館への広報車の配置を機に、昭和43年6月から移動公民館が祖母井地区、水橋地区を含めた全町を巡回することになった。水橋は毎月1日に13集落、祖母井は毎月10日に13集落、南高根沢は毎月20日に16集落が移動公民館の日となった。

新しく導入された広報車には、12年前南高根沢公民館の移動公民館が始まった時と同じように、保健婦と農業改良普及員が同乗して、血圧測定や健康相談、施肥や病害虫防除などの相談に応じた。移動図書館は、集落の代表者宅に巡回文庫(段ボール箱に50冊の本)を1カ月後の移動公民館の日まで配置し、集落の人

たちは公民館図書室の本をいつでも利用できるようになった。移動公民館の当時の様子を上稲毛田加賀地集落の船生巨弘・華子ご夫妻と下高根沢谷津集落の岡田純一・昌子ご夫妻に伺った。

「移動公民館の加賀地駐車場は、現在は稲東集落センターが建っているところで、当時は農協倉庫と火の見櫓が建っていました。火の見櫓には半鐘の代わりに旧家から提供された鰯口を吊るし木槌で鰯口を叩いて火事や事件の発生を集落中に知らせていました。古い鰯口で『安政貳年参月拾日加賀地村』と銘が刻ま



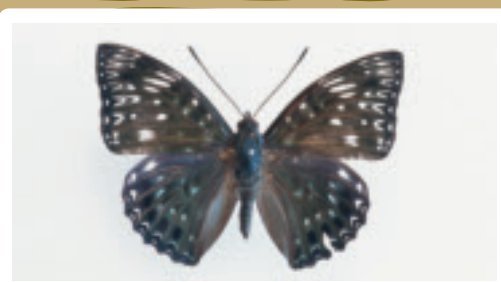
▲船生さん夫妻

れていました。加賀地は、とにかく交通の不便なところで、上稲毛田宿から東に続く山道は荷車がやっと通れる道でした。町や農協のお知らせも届かないところでした。医者もなかなか来てくれず、子どもや年寄りなど医者が間に合わず、手遅れになることが多かったです。病气やけが、健康には関心が高い集落でした。」

(つづく)

しまたがしの 芳賀の自然

29



スミナガシ チョウ目タテハチョウ科

写真提供=芳賀町自然に親しむ会 撮影場所:真岡市内
分 布=本州~四国・九州
生息地=林の中や縁部に多く、初夏にクヌギの樹液を吸う姿がよく見られる。
時 期=5~8月(発生:2回/年)
食 性=ヤマビフ・アワブキなどが食草
大きさ=開張(羽を広げた最大値)50~65mm
特 徴=「墨流し」とは宮中で水面に墨を浮かべて変化の美しさを鑑賞した遊びから。羽に黒地に青緑色の墨流しで作ったような独特の模様がある。吸水時に赤い口吻(こうぶん)が目立つ。雄は縄張り意識が強く、敏速に飛び回る。

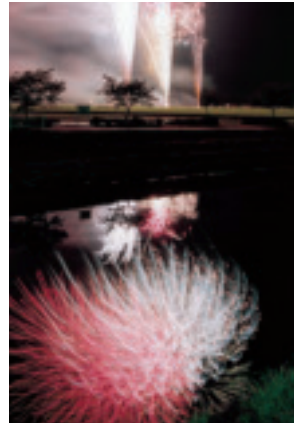
編集後記

□夏の風物詩といえば花火大会がありますね。各地の花火大会にお出かけになる方も多いことでしょう。

今年の芳賀町ロマン花火は8月7日(土)。夜まつりの屋台も復活します。出店や屋台の明かりは雰囲気盛り上げますね。

おいしい物を食べながら、花火を見る。芳賀町ロマン花火で心を癒してリフレッシュ。

(Y)



▲芳賀町ロマン花火

- 編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
 - 発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
 - 芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp
- 📱芳賀町の携帯サイトはコチラから➔

